

龍谷大学 犯罪学研究センター (CrimRC)



公開シンポジウム 死刑を考える一日

日本は、米国や韓国などと並んで、死刑制度を存置する民主主義国です。しかし、米国では、死刑を廃止または執行停止している州が過半数になろうとしています。韓国は、20年以上もの間、死刑を執行しておらず、国際的には「事実上の廃止国」と位置付けられています。ところが、日本政府は、世論調査の8割が死刑を支持していることを理由に存置の姿勢を崩していません。国会は、死刑について議論しようとしません。今年7月にも再審請求中の死刑確定者の刑が執行されました。執行方法は未だに絞首刑です。

死刑は、人権の核である人の生命を奪う刑罰です。文明社会においては消えていく運命にある刑罰です。世界は、死刑を廃止するためにさまざまな努力をしています。わたしたちは、何かしているのでしょうか。今回のシンポジウムでは、死刑問題にかかわってきた、元刑務官、ジャーナリスト、弁護士、研究者、宗教者、学生、市民など、立場を超えて、みんなで死刑について考えます。

公開シンポジウム 実施概要

- 日時：2022年 **12月23日** (金)
13:30-18:00 ※途中入退席可
- 会場：龍谷大学深草キャンパス3号館301教室
- 参加費：無料 ※事前登録制
- 定員：150名 ※申込先着順に受付
- 対象：刑事政策、少年法、刑事法ゼミなどの受講者、法学部関係者を主な対象としますが、学内外を問わず、日本の死刑に関心をお持ちの方はどなたでも参加できます。
- 主催：石塚伸一 (法学部・教授)

詳細・申込ページ



プログラム

【第1部】13:30～15:00

死刑とはどんな刑罰なのか？

「絞首刑」(大阪弁護士会)の上映等

【第2部】15:15～16:45

みんなで死刑について考える

対談 話し手：元刑務官 / 聞き手：堀川恵子
(ジャーナリスト、ノンフィクション作家)

リレートーク「いま、死刑は動いている」

【第3部】17:00-18:00

みんなで死刑について考え、そして、語りましょう

問い合わせ先：龍谷大学 犯罪学研究センター
E-mail：crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp
Tel：075-645-2184